



学力の向上について

校長 新家子 直之

桜やケヤキの葉が色づき始め、子どもたちが登下校で通るあいさつの小径に植えられたハナミズキの赤い実は青い空によく映えています。季節は秋を感じさせるようになってきました。

先日の運動会には、多くの保護者・地域の皆様にお越しいただきまして誠にありがとうございました。子どもたちは練習の成果を發揮し、競技・演技に全力で取り組んでくれました。「どの組にも優勝をあげたい」そんな気持ちになる感動的な運動会でした。ご参会の皆様におかれましては、最後まで子どもたちを温かく応援していただきましたことに心より感謝申し上げます。

残暑厳しい中、練習を続けて行事を成功させた経験を、子どもたちがこれからの学校生活に生かしてくれたらと願っています。



さて、先月、平成31年度全国学力学習状況調査（6年生実施）及び埼玉県学力学習状況調査（4年生以上）の結果が学校に届きました。本校全体に関わる結果（正答率・伸び率）は下表のようになりました。

県学調・正答率% <国語>				県学調・正答率% <算数>				全国学力・正答率 <6年>		
	4年	5年	6年		4年	5年	6年		国語	算数
本校	56.5	45.9	58.8	本校	67.1	66.5	59.9	本校	61	62
川越市	54.0	48.9	60.8	川越市	70.1	66.7	60.7	埼玉県	64	64
埼玉県	56.1	52.3	62.2	埼玉県	71.7	68.2	61.5	全国	63.8	63.8

※網掛けは本校が市や県・全国の平均より低いもの
今年からA問題・B問題はなくなりました

県学調・昨年度からの伸び率 <国語>			県学調・昨年度からの伸び率 <算数>		
	5年	6年		5年	6年
本校	◎57.3	◎76.2	本校	◎82.3	◎72.6
川越市	51.9	76.0	川越市	78.1	71.3
埼玉県	51.2	73.5	埼玉県	79.3	70.8



これを見ると、4年生の国語以外は正答率では市・県を下回っており、課題が見られます。

しかし昨年度からの伸び率（同じ児童が次の学年でどのくらい伸びたか）は、本年度も市や県を上回っていましたので、学校での学習指導や子どもたちの頑張りは成果として表れてきているといえます。

本校の課題としては、国語での読解力の向上（自分の思い込みで解釈してしまう）、自分の考えを表現・発表する意欲の不足などが明らかになっています。文章の意味を正確に読み取るためには、「音読」がとても有効です。それはどう読もうか考えることで言語認識が高まり、自分で声に出して読んだ文や言葉を耳で聞くことで言語理解が深まるからです。

ご家庭には、毎日音体カードを活用して音読に取り組んでいただいています。その重要性をご理解いただき、時には一緒に読んでいただいたり、上手く読むアドバイスをしていただいたりしてくださると幸いです。

学校でも、音読指導を含めて国語科の授業の工夫はもちろん、文に親しむために読書活動も積極的に進めてまいります。

個人の結果につきましては、このあと担任から返却されますが、よくご覧になられ、お子さまの学習状況についてご理解いただければと思います。

これからも学力向上について、ぜひ学校と家庭とが連携した取組を進めていきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。